



池上総合病院 広報誌

新春号外

Ikegami General
Hospital

【つなぐ】～地域の方々と医療をつなぐ、信頼される病院を目指して～

池上総合病院 院長より、新年のご挨拶。

新年のご挨拶を申し上げます。

まず初めに、2024年1月1日に起きました能登半島地震につき、被災者・被災地に関連される方々に心よりお見舞い申し上げます。一人でも多くの命が救われることを信じ、また一日も早い復興を祈念いたします。さらに1月2日、羽田空港で起きた航空機同士の接触炎上事故で被災された方々、関係するご家族にも心よりお見舞い申し上げます。立て続けに起きた大きな災害に、直接の被災者ではなくてもストレスを感じる方は多いのではないかと思います。



大田区では地域防災計画のみならず、危機管理マニュアルを策定公開しています。防災計画では公助の規定のみならず、自助・共助の指針に続きライフラインの復旧の中でも情報戦略は上位に位置付けています。ひと月と立っていない昨年末ですが、当院でも大田区の防災訓練の一環である救護所訓練を4年ぶりに行うことができました。地域ボランティアの方々のご協力をいただき、地区医師会、薬剤師会、区担当者の方々とトリアージ、被災者搬送手順を確認いたしました。この時改めて、救助活動の時間短縮や労力軽減の上で、情報伝達および共有の重要性を認識しました。今回の災害でも、個人がインターネット上に投稿する被災情報は膨大ですが、この中から救助に繋がる情報を選別することは容易でないことは想像に難くありません。情報はライフラインの中でも重要性が高まっていますが、今後は膨大な情報の選別にAIの介入が進んでゆくのかも知れません。一方、羽田空港の事故では海上保安庁の職員5名がお亡くなりになられる痛ましいものでありました。旅客機の乗員は15名の方に負傷が確認されたものの、乗客乗員379人が命に別状なく脱出できたことは賞賛に値すると報道されています。しかし、報道されたような激しい火災を経験したことは、今後心的外傷後ストレス障害が発症することも考えられるため手放しで喜べるものではありません。皆様の周囲に関連された方がおられましたら、その点にもご配慮ください。我々組織はこれらの災害時に事業を継続できるように計画を立てていますが、個人でも生活が継続できるように日頃から計画を立てておくとは重要かと思えます。どうか皆様も、地域の防災計画や危機管理マニュアルを今一度ご確認いただきまして、ご自身の環境にあった計画をご検討ください。改めまして、皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

2024年1月4日
池上総合病院 病院長 繁田明義



医療法人社団 松和会 池上総合病院

〒146-8531 東京都大田区池上6-1-19 TEL03-3752-3151(代)